

# 交牧連の活動日誌

～みんな違う みんな仲間～

## 第21回 北海道ブロック誌上座談会 第2弾

# コロナ禍でも“自粛”してられなかった！ だってアイデアがあふれるから

地域交流牧場全国連絡会（以下、交牧連）北海道ブロックでは、コロナ禍を経て「オンライン牧場体験スターキット」を作成しました。初めてでもオンライン牧場体験を企画できるように、ガイドブックと自撮り棒、イヤホンマイクをセットにしています。このキットを実際に牧場で使った“デモンストレーション動画”もつくりました。今回は、その作成メンバーに集まってもらい、作成の経過などについて話してもらいました。

### オンライン牧場体験の スターキットを作成

**藤田** コロナ禍で人が集まれなくなった代わりにオンラインで使用できるツールが身近になってきた中、牧場体験の受け入れもオンラインでできないだろうか、と考えるスターキットを作成しました。それ以前から、ZOOM（ウェブ会議システム）で会員の牧場を紹介したり、SNS発信のために動画編集の研修会を開いたり、オンライン牧場体験をしている会社の話を聞くなど、キットをつくる下地はありましたね。

**菊地** ただ、実際にどうやってやるのか、どんなツールが必要で、どう選べばいいのかも分らなかった。そこをクリアできて会員に紹介できれば、やれる人が増えるのではないかと思います。

**新妻** いざやろうとするとなかなか難しく、経験がない人のためにどういうものがいいのか考えた末、最終的にこのセットになりました。

**藤田** デモンストレーション動画も、最初は小学生向けの2パターンと中学生向けの他、テーマを分

### 座談会参加者

<b>新妻 礼隆</b> (39) 足寄郡足寄町 新妻牧場 父親が初期メンバー	<b>藤田 磨美</b> (41) 河東郡鹿追町 カントリーファーマーズ藤田牧場 父親が初期メンバー	<b>菊地 亜希</b> (39) 広尾郡広尾町 菊地ファーム 2015年入会
--	---	--

けたりして6つのプランを考えました。しかし予算上無理だったので、もっとシンプルな内容にと考えた結果、“牛のからだについて”というテーマに落ち着きました。

実際にオンライン牧場体験を行っている人を第三者目線で撮影した動画で、会員には体験者になって参加してもらいました。いわばメイキング動画みたい



デモンストレーション動画のスタート画面



座談会出席者は導入画面から登場。左から藤田、新妻、菊地

なものです。

**新妻** デモ動画の撮影の時は、移動の時は何を話すとか、子牛を見せる時はこうした方がいいとか、自分でもいろいろ考えました。藤田さんは牧場体験者を多く受け入れていて経験豊富なので参考になったし、そもそも体験を受け入れている牧場を見に行くのが楽しかった。

**藤田** 牧場を紹介するだけなら一人でもいいけど、牛を見せたりするならもう一人必要だと思います。スマホがかなり過熱してしまい止まってしまったこともありましたし。

### SNSへの投稿のためにも キットを気軽に使ってほしい

**菊地** 結局、希望した15会員に配布しました。機器を使ってみた人には好評でしたね。時間をかけて、いろいろスペックなどを調べたかがありました！

**藤田** 牧場のヨーグルトを購入した老人ホームから「子牛を見せてほしい」と言われて、30分くらい牧場の様子を見せた会員もいました。ポケットWi-Fiを使って一人で行ったそうです。実況中継のようなものだからリアルに伝わったみたいで、視聴したおじいちゃんからいろいろ質問もあったそうです。そういう風にキットは気軽に使っていいんですよね。牧場体験って構えなくても。

**菊地** ウチはインスタグラムのライブ配信をやりました。時間は30分ぐらいで、牛舎から放牧地まで牛の様子を見せつつ、いろいろと話をしました。コメントくれる人も結構多かったですね。スマホを手で持って映すよりも、自撮り棒の方がリーチも長くなるし使いやすかった。

**藤田** 手始めに友達とか親戚とかを相手に試してみてもいいですね。

**新妻** リアルな牧場の様子や風景を撮影してSNSに投稿するのもどんどん使ってほしい。

### 同じような価値観の人と 情報交換できるのが交牧連の良いところ

**藤田** このキットをつくるのに、交牧連の代議員会や総会で「なぜつくるのか」「何をつくるのか」を何回も説明してきました。コロナ禍だからって何もしない、できないではなく、せっかく交牧連に入っているのだから会員同士でも、消費者とも、交流した方がよいと思います。

**菊地** そう、交牧連に入って良かったのは、同じような価値観の酪農家がいる



スムーズに体験会を進められるよう随所にワンポイントアドバイスをちりばめた

ことで、今回みたいいろいろな活動ができなくなった時に、「どうしてる?」「どうする?」と情報交換できることです。

**藤田** アイデアなどを出し惜しみする会員はいないし、同じ仲間の牧場に行けるのはいいですよね。勉強になるし、体験に来た人にウチとは違う牧場もあるんだよって話もできる。経営のこととかも教えてもらえるし、色んなことをやっている人がいるので話しておもしろいです。いいことしかないです。

**新妻** 父親から引き継いで会員になり、最初はクラブ・ユースから入ったのですが、それも良かった。横のつながりができるし、全国に友達もできる。最近の情勢とかの話も聞けますし。

**藤田** 今度はみんなで海外研修に行きたいですね。

地域交流牧場全国連絡会(交牧連)に関するお問い合わせ先  
 (一社)中央酪農会議内交牧連中央事務局  
 TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295  
 メール:koubokuren@churaku.jp  
 ホームページ:https://www.dairy-farm.jp/  
 フェイスブック:https://www.facebook.com/koubokuren



【交牧連 HP】